

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第783号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日…令和5年4月1日
●発行所…北海道手をつなぐ育成会
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人…佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

大会
テーマ

大会
10-ガ

潮風香る小樽の街から、
笑顔の大きなうねりを広げよう！

『笑顔で暮らせる毎日』

北海道手をつなぐ育成会 第68回全道大会小樽大会



第2回小樽大会実行委員会終了後の3月23日、道育成会第4回理事会が開催され、小樽大会の内容について、その概要が確認されました。現在、大会への申し込み手続き等を記載した「開催要綱」を急ピッチで作成中です。そこで、予定されている大会内容について一足早く、皆様にお知らせします。

開催日…令和5年8月6日(日)

9:30～15:30

(ハイブリット方式)

会場…「小樽市民センター(小樽マリンホール)」

「いなきたコミュニティセンター」

参加費…会員、福祉に関心のある市民の方々

2,000円(資料代として)

*ご本人は無料ですが資料を希望される場合は2,000円です。

研修内容…シンポジウム

・討議テーマ『頑張っています！』
「シンポジスト各分野、3名からの実践報告」
・コーディネーター
「全育連 又村事務局長」

中央情勢報告…「全育連 久保会長」
記念公演…演題『笑顔で暮らす』
講師「北川 聡子」氏

(社会福祉法人麦の子会 理事長 手をつなぐ編集小委員会 委員)



次に小樽大会における新たな挑戦についてお伝えします。

①大会はコロナ感染症の影響を鑑み、会場とオンライン参加者の両方を受け付けます。(ハイブリット方式)その際、会場参加を希望する方については、お住いの地域を限定せず、道内全域とします。②午前、午後を通しての一日日程。お昼休みは、街を散策していただきながら、各自で昼食をとっていただきます。(※本人大会参加者は、お弁当の事前注文をお願いします。)



大会プログラム(予定)

8月6日(日曜日)

育成会大会 (300名)		本人大会 (100名)	
小樽市民センター(小樽マリンホール)	(9:00～受付開始)	小樽市いなきたコミュニティセンター	(9:00～受付開始)
(9:30～10:00) 【開会式】		(10:00～12:00) 【シンポジウム】	
(10:00～11:30) 【シンポジウム】		(12:00～13:00) 昼食休憩(弁当・60分)	
テーマ「頑張っています！」		(13:00～14:30) 【ビデオレター交流】	
(11:30～13:00) 昼食休憩(90分)		(14:30～15:00) 【音楽療法】	
(13:00～13:30) 【中央情勢報告】		「みなさん一緒に…」	
(13:30～15:00) 【記念講演】		(15:00～15:30) 【閉会式】	

チャレンジ・音楽療法
思い出観光・小樽市内バス旅行

③3年ぶりとなる『思い出観光』を実施します。小樽は道内有数の観光地、ボランティアさんと一緒にバスによる小旅行をお楽しみ下さい。なお、昼食代を含む経費や見学コースについては現在検討中です。また、『チャレンジ』も実施します。この度は『体験してみよう！音楽療法』がテーマです。

*現在「第29回本人大会」も準備中です。詳しい内容が決まり次第お知らせします。お楽しみに。

助成事業実施（報告）

育成会 日高ブロックの活性化めざし！

令和5年3月4日

（出）午前と午後、連続して二つの事業を実施しました。

午前の部は『日高地区活性化懇談会』を開催しました。活動の活性化に向けて、どのような取り組みが必要か。道内において活発に活動されている地区育成会（先進地）の取り組みを紹介いただいたり、同じような悩みを抱えた地区の取り組みなど、いくつかの事例をもとに参加者による意見交換がなされました。

この会議はここ数年、定例で開催しており、年に2回開催した年もあり、通算で4回目となります。全ての会議に佐藤会長と樋口事務局長に同席をいただきました。しかし、日高ブロックの地区育成会はこの数年で5町から2町に減り、急速な減少に歯止めをかけられない状況が続いています。

そうした中、会員をはじめ、福祉事業所等の関係者と議論を重ねた末、育成会が「親の会」としての在り方だけでの存続は困難との結論を得て、育成会の原点でもある「手をつなぐ」を大切に、同じ想いのある地域住民み



んなが繋がれるよう、ブロックの規約を改正し、新たな形での存続を追求しています。

午後からは、サポート協会の助成を受け、育成会活動の啓発、啓蒙、地域住民へ文化を、癒しのひと時を提供しようと、育成会が主催する朗読劇「いのちのいろえんぴつ」公演に取り組みしました。脳腫瘍により11歳で亡くなった少女の物語、実話です。（＊興味のある方は「チーム一番星」で検索を）

結果は、150名の参加者を得て、会場は一杯となりました。寄せられたアンケートには「大変良かった」「感動した」との回答がたくさん寄せられホッとしました。しかし、育成会の認知度を問う項目では「少し知っている（35%）・あまり知らない（42%）」と、その低さに驚きを越え、情けなさを感じました。

逆に言えば、開き直りかもしれません。開拓の余地が大きいとも言えます。今後、こうした文化事業を通じて、地域の方々と交流を図り、その事をきっかけに、福祉や育成会への理解を深めてもらうことで仲間を増やしていけるのではないかと。この取り組みを通じて、励ましをいただいたように感じました。

日高ブロック事務局長

大関 薫



令和5年4月

事務局長の交代について

第4回理事会において、平成30年4月から5年間にわたって勤務をいただいた樋口事務局長が本年6月末で退職されるに伴い、佐藤会長より新たな事務局長として品田氏のご紹介がありました。

新事務局長 就任のご挨拶

これまで約40年間、子どもと教育に関わってきました。新採用として着任したのは、恵庭市の障害児学級（特別支援学級）。右も左もわからず、満足なことは全くできず、子どもたちにも保護者の方にもとても申し訳ない担任だったと思います。ただ、わずか4年間の経験ではありましたが、教師としての原点を深く心に刻むことができました。

4年が過ぎ最初の異動で通常学級担任となりました。でもその時思ったのは「いつかもう一度、障がい児教育に携わる機会があるかも」ということでした。しかし、その後は通常学級担任、管理職として過ごす日々、最初の思いは胸に秘めたまま退職となりました。

退職後、千歳市教育委員会特別支援教育相談員、その後千歳市障がい者総合支援センターに勤務。そしてこの度の手をつなぐ育成会事務局での仕事と、新卒時代の思いが単なる空想ではなかったことに自分でも驚いています。精一杯務めさせていただきまますので、どうぞよろしくお願い致します。

品田 敏

私たち育成会、ただ今、奮闘中！

地区育成会の活動紹介 その1

マツケンサンバで「オ・レー」！

千歳市手をつなぐ育成会は、3月11日(土)、千歳市社会福祉協議会の会議室を会場に本年度3年連続となる「音楽教室」を開催しました。

参加者に様々なパーカッション楽器(打楽器)に触れてもらい、演奏体験を通じて音楽の魅力や仲間とのコミュニケーションを通して、楽しいひと時を過ごしてもらおうのがねらいです。

参加者は支援者、講師を含めて16名。時間は休憩を挟んで1時間半程度でしたが、思わず体全体でリズムを刻む人、座ってはいられないと立ち上がる人、キーボードに合わせて歌い出す人も。会場はあつという間に熱気に包まれ、短時間で合奏も完成することができました。

こうして参加者が盛り上がる秘訣は、打楽器の持つ魅力です。ある程度リズムを刻むことができれば、周りと合わせること



が容易です。「タンブリン・ボンゴ・マラカス・シェイカー・アゴゴベル・コンガ・太鼓・電子ドラム…」どの楽器の演奏も音を出すこと自体はさほど難しくありません。必要なのは相手の演奏を聴いて、合わせることに、一緒に楽しもうという気持ちです。

振り返れば3年前、アニメ「鬼滅の刃」から「紅蓮華」でロック調の演奏を。昨年は、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージカル」から「ドレミの歌」。そして今年は、まさにカーニバル(お祭り)のリズム「マツケンサンバII」に挑戦しました。

また、この間、事業の補助金を活用し、楽器も購入することができました。今では参加者の皆さん全員に打楽器を渡すことができました。「今年は、どこかで発表したい。」との声も。

音楽教室の最後は「4月2日、世界自閉症啓発デー札幌イベント2023」の呼びかけにに応え、セルフイーフレームをもつての全記念写真を撮影し、終了しました。

千歳市手をつなぐ育成会 会長 青木繁雄



コロナに負けるな シリーズを終了

育成会活動への熱い想いと、寄せられた知恵や工夫に心から拍手

コロナ禍においても、各地の育成会では予定する事業、取り組みを何とか実施しようと、新規患者数の波を見計らいながら、また、様々な工夫を凝らし、実現に努力を重ねてきました。

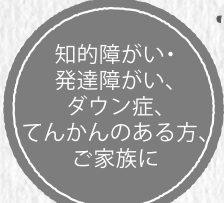
本誌「げっぼう」でご紹介した取り組みは、令和3年3月号・令和5年3月号までの3年間で「31事業」にのぼりました。

料理教室をはじめ、いくつかの事業では従来型の集合形式を避け、材料を配り、あるいは取りに来てもらい、その後、動画配信によって、各家庭で取り組んでもらうといった取り組みが生まれました。「コロナだからできない」ではなく「できるために何が必要か。」新しい発想が生まれています。無論、手間や時間は今まで以上に必要でした。

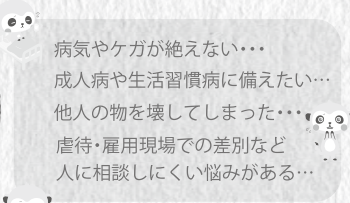
事務局には「取り組みにヒントをもらった」「励まされた」という感想が寄せられました。「コロナに負けるな」シリーズは終了となりますが、各地の取り組みの紹介は続け、情報提供、交流を図っていきます。ご協力をよろしく願います。そして、お楽しみに…。

4月の予定

21日(金) 小樽大会 第3回実行委員会
27日(木) 第1回 理事会



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に



病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康組合保険（特約付）2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの

こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



このようにお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階
※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150
平日9時～17時（土日・祝日・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・自閉症児者の

生サポは **家族の安心を支えます**

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 （地震・噴火・津波によるケガも対象）	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102 レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階 北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

2022年12月現在の内容です。（D-006318 2024-03）

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7（4F）
電話（011）251-0855／FAX（011）251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

社会福祉法人 朔風 やまはなワークス さくらんぼ
〒004-0042 札幌市厚別区大谷地西4丁目4-1
電話／FAX（011）892-0105

★生活介護 ☆定員 6名

★主な作業
☆羊毛フェルト（キーホルダー、鍋しきなど）
☆ボルトとワッシャーの組み合わせ
☆電線剥き（銅線リサイクル）

少人数ですが家庭的な雰囲気
で活動しています

